

沖縄総合事務局開発建設部事業評価監視委員会議事要旨(平成16年度)

1. 開催日時：平成17年3月25日(金) 10:00 ~ 11:00
2. 場 所：沖縄総合事務局 4F 特別会議室
3. 出席者： 委員 池田 孝之 琉球大学工学部教授
諸喜田茂充 琉球大学理学部教授
津嘉山正光 琉球大学工学部教授
仲里 全輝 沖縄県商工会議所連合会常任幹事
眞榮城守定 地域学者、元琉球大学教授
(敬称略)五十音順

総合事務局 渡口次長、佐藤開発建設部長 ほか

4. 事務局説明：
平成16年度事業評価対象事業
平成16年度沖縄総合事務局事業評価関係適用通達
事業評価の費用便益分析に関する技術指針一覧

5. 事業評価監視委員会審議

一般国道58号恩納南バイパスに係る事業再評価審議結果

・対応方針(原案)に対して審議を行った結果、「事業継続」で了承された。
(委員からの主な意見)
大学院大学や周辺施設の整備の動向を踏まえた上で、事業の進捗を図られたい。

(審議内容)

- (委員) 恩納南バイパスが整備されることで渋滞が改善されるとあるが、大学院大学が設置されることにより交通量が増加するのではないかと。
- (事務局) 交通量観測(交通センサス)は前回平成11年に行ったが、その時に大学院大学の構想がなかったため、反映されていない。来年度に交通センサスを行う予定であり、その際に大学院大学の開発による影響が反映される。その結果を踏まえて、道路事業計画全体の見直しを行う予定でありその中で整理していくこととなる。
- (委員) 恩納南バイパスと現道部が連結する箇所では渋滞が発生するのではないかと。
- (事務局) 連結する箇所は、現在の2車線から4車線にすることで対応する。
- (委員) 渋滞の要因は58号が片側1車線ということが大きい。大学院大学周辺に住宅地

や関連企業の立地が予想されるが、どのように計画に反映させていくのか？

(事務局) 大学院大学自体の施設設計等ができていないため、大学へのとり付け等詳細については、今後、関係機関と情報交換していきながら、調整していきたい。

(委員) 工事にあたり、赤土流出はなかったのか。

(事務局) 赤土については、赤土流出防止条例に基づき適切に対応している。

一般国道331号中山改良に係る事業再評価審議結果

・対応方針(原案)に対して審議を行った結果、「事業継続」で了承された。

(委員からの主な意見)

事業の進捗を図られたい。

(審議内容)

(委員) 中山改良が完成した後、既存の道路の取り扱いはどうなっているのか。

(事務局) 完成後は基本的には地元自治体に移管することになる。

(委員) 既存道路との接続部分はどういう構造か。交差点(信号)が増えてしまうのか。

(事務局) 平面交差点となり信号が増えることはある。旧道の利用状況を考慮すると道路管理者が変わっても道路としての機能廃止は考えられない。

(委員) 環境面で、貴重な「イボイモリ」等が生息していると聞いているが、何らかの対策は行われているのか。

(事務局) 貴重動植物への対策については、有識者からのアドバイスを頂きながら対応していきたい。

中城海上保安署整備事業に係る事後評価審議結果

・対応方針(案)どおり「改善措置及び今後の事後評価の必要性はない」ということで了承された。

(審議内容)

(委員) 中城湾港に立地しているということで、塩害対策を行っているのか。

(事務局) コンクリートのかぶり厚さを若干上げる等している。

沖縄総合事務局開発建設部事業評価監視委員会議事要旨(平成16年度)

1. 催日時 : 平成17年3月25日(金) 10:00 ~ 11:00
2. 場 所 : 沖縄総合事務局 4F 特別会議室
3. 出席者 : 委員 池田 孝之 琉球大学工学部教授
諸喜田茂充 琉球大学理学部教授
津嘉山正光 琉球大学工学部教授
仲里 全輝 沖縄県商工会議所連合会常任幹事
眞榮城守定 地域学者、元琉球大学教授
(敬称略)五十音順

総合事務局 渡口次長、佐藤開発建設部長 ほか

4. 事務局説明 :
平成16年度事業評価対象事業
平成16年度沖縄総合事務局事業評価関係適用通達
事業評価の費用便益分析に関する技術指針一覧
5. 事業評価監視委員会審議

作成中